

江戸川区議会の国際交流推進に関する決議

戦後70年余を経過し、現在の日本は平和で経済的に繁栄し、文化的・歴史的に大変魅力のある国として、世界の人々から尊敬と関心を集めるようになった。また、訪日外国人旅行者も2017年には2,869万人となり、5年連続で過去最高を更新し、2020年には4,000万人の目標が掲げられている。日本人の出国も2017年には1,789万人を数え、今や国際体験を通じた豊かな人生の構築となる国際交流は、地方行政にあっても推進・支援すべき大切な施策の一つとなっている。

本区においても、国際交流の一環として本年5月にオーストラリア・セントラルコースト市との間で姉妹都市盟約の再締結及び旧ゴスフォード市からの姉妹都市交流30周年の記念行事が行われた。また、2003年から行われている「青少年の翼」事業は、国際的に活躍する青少年の人材育成に大きな成果を上げているところである。

こうした中、アメリカ・ホノルル市議会と江戸川区議会との間で友好交流の階(きざはし)を得るに至り、この好機に文化・観光・スポーツ・教育など様々な分野で相互理解と友好を深める事は、両都市の更なる発展と国際体験の充実及び区民文化の醸成に大きく寄与するものであり、今後も情報交換・研究・協議を行い、相互に実りある活動の推進と継続的な交流が必要である。

よって、江戸川区議会はホノルル市議会と協力し、両議会の交流の輪が両都市の交流へと発展させていくことを固く決意する。

平成30年10月24日

江戸川区議会